

番号	分類	講座名	講座内容	講師	日時	会場	持ち物等	備考
1	学校経営	子供一人一人の命を守り、主体性や自治力を育む学校づくり	「危機はなぜ起こるか」「管理職として、学校経営のビジョンの持ち方は」「職員への働きかけはどうすればよいか」「職員のベクトルを揃えるには」など、日常における危機対応や、子供と教職員が主体的・創造性を発揮しながら活動を充実させる意欲的な教職員集団の在り方について、具体的な事例をもとに皆さんと一緒に考えます。	岐阜聖徳学園大学 福地 淳宏 様	7月24日(月) 9:30～11:00	市役所 301会議室	筆記用具	管理職の受講を推奨
2	理科	初等理科における問題解決の授業の在り方	・学習指導要領の理解 ・見方・考え方を働かせた授業づくり ・教材開発の方法 ＜昨年度の感想から＞ ・岐阜県でスタンダードとされていることや日常で当たり前だと考えていることに疑問をもち、目的に迫るにはどうすればよいかという視点で考えることの大切さを学びました。 ・90分あつという間で、ぜひ来年度も参加したいと思った。もともと子どもたちが「生活に役立っている」と実感できるように授業を見直していきたいと感じました。	岐阜聖徳学園大学 高木 正之 様	7月24日(月) 10:30～12:00	市民会館 第1会議室	筆記用具 (小のみ) 担当学年の理科の教科書	中学校も参加を歓迎
3	ICT研修 I	iPad操作やロイノート操作を学ぼう	・iPadの基本操作、応用操作 ・ロイノートの基本操作、活用 ・オンライン授業のための環境づくり ＜昨年度の感想から＞ ・実際に、自分のiPadを使って試してみながら、楽しく学ぶことができました。 ・初心者にもわかりやすい講座で、すぐにも実践したいことがたくさんありました。	羽島市教育委員会 教育支援センター 岩田 陽助	7月24日(月) 14:00～16:00	正木小学校	筆記用具 iPad 上靴	
4	生徒指導	不登校児童生徒・保護者に寄り添った支援のあり方	～ありのままを受け入れ、心のエネルギーを満タンに～ ・不登校児童生徒数は、ここ数年間、増加する傾向にあります。コロナ禍は、その傾向をより一層顕著なものとなりました。不登校児童生徒への対応は、一人ではなく学校全体で組織として行っていく必要があります。「不登校に対する基本的な考え方は？」「子どもや保護者に寄り添うとはどういうこと？」。自分の指導を振り返り、子どもたちの明日のためにどうしていくのか、ともに考えていきましょう。	羽島市教育委員会 教育支援センター 増田 恭司	7月25日(火) 9:30～11:00	市民会館 第1会議室	筆記用具	
5	キャリア研修	学年主任の学校組織マネジメント	学年主任のための学校組織マネジメントです。「担任と学年主任の違いは何か」「学年の先生方への働きかけはこれまで」「声かけの在り方は」、具体的な事例をもとに、学年主任の在り方を考えます。自分にあった責任を見つけていくことができるよう、ともに考えましょう。 ・キャリア発達経路 - 自己のキャリアの振り返り ・私のメンター ・自分の資質・力量の分析 - 私のミッション	羽島市教育委員会 学校教育課 豊島 博	7月25日(火) 9:00～10:30	市役所 301会議室	筆記用具	学年主任向け
6	算数・数学	数学的活動の充実に向けて	算数・数学の授業がより充実したものになるにはどうしたらよいか、 「課題提示は？」「発問は？」「個人差への対応は？」「発展学習は？」実際の授業場面を想定し、具体的な事例を考える中で、そうした疑問について、ともに考えていきたいです。自分の授業を振り返る中で、明日からの実践に生かすことを目的とした講座です。算数・数学の学習で、本当に大切なことは何かをつかみ、授業力の向上につなげましょう。	岐阜聖徳学園大学 鈴木 明裕 様	7月25日(火) 10:30～12:00	市役所 302階議室	筆記用具	
7	ICT研修 II	imovieを活用して動画資料をつくらう	・i-movieでの動画の編集や作成 ＜昨年度の感想から＞ ・今まで使いたくてもよくわからない「どうしたらよいか聞けない」など困ったままになっていた疑問を解決することができました。 ・i-movieを使った動画を行事や授業の中で、児童が自分たちで作成したり、編集したり、発表したりできると面白い活動ができそうだと思います。	羽島市教育委員会 教育支援センター 岩田 陽助 教育産業(株)担当者	7月25日(火) 14:00～16:00	正木小学校	筆記用具 iPad 上靴	
8	道徳	道徳の授業づくり	「正解」を求める道徳から「納得解」を求める道徳へ。子どもたちの心を揺さぶるためにはどのような授業を行ったらよいか、演習を交えて学びます。自らの授業を振り返り、子どもにとっても、教師にとっても「楽しい」「意味のある授業にするためにはどうするか、考える時間です。 ＜昨年度の感想から＞ ・縦横授業は本当にわかりやすく、聞きながら、納得しながら、あつという間に時間が過ぎました。夏休み明けから授業に活かせる内容がいっぱいありました。 ・「納得解」という言葉を聞いて、教師の考えを押しつけるのではなく、子どもにあった答えや生き方を見つけられたいと思いました。	岐阜聖徳学園大学 山田 貞二 様	7月26日(水) 9:00～10:30	市民会館 第1会議室	筆記用具 スマートフォン	
9	生徒指導	「いじめ」と向き合う	『「いじめ」は、被害者の命を脅かすもの』『「いじめ」は、加害者の人としての在り方を損なうもの』 日々の学校生活の中で、「いじめ」に対してどのように対応すればよいのか、具体的な事例をもとに学びます。 ・被害者、加害者、傍観者への効果的な指導とは ・事業の確認をいかに行うのか ・子どもを軸にした保護者への対応は 等 子どもたちの笑顔のため、ともに考えていきましょう。	岐阜市 主任いじめ対策監 多田 積央 様	7月26日(水) 10:30～12:00	市役所 302階議室	筆記用具	
10	外国語	小学校外国語(活動)の言語活動と評価	外国語(活動)には、児童のコミュニケーション能力の向上や、人間関係の向上、学級経営力の向上など、様々な効果が期待されます。現在、指導していない先生方も、ぜひご参加ください。なお、中学校の先生やALの先生のご参加も大歓迎です。一緒に楽しく学びましょう。 ＜昨年度の感想から＞ ・リスニング教材でも、場面・目的・状況を設定することで自分ごととなり、主体的に取り組めることを学びました。もともとたくさん授業展開を聞いて考えてみたいと希望がもてました。 ・なぜ英語を学ぶのかという質問にも、子どもが納得するような答えを今後伝えられようと思います。	岐阜聖徳学園大学 加藤 拓田 様	7月26日(水) 10:30～12:00	市民会館 第2会議室	筆記用具 (小学校)New Horizon Elementary 5.6 Picture Dictionary (中学校)New Horizon 1年 生用	中学校も参加を歓迎
11	ICT研修 III	Keynote等を活用して学習資料をつくらう	・keynote等を活用した動きのあるデジタル資料の作成 ・動画や画像を取り込んだデジタル資料の作成 ＜昨年度の感想から＞ ・keynote等の活用を学ぶことで、アプリの特長を活かした活用について自分の学びの幅を広げることができました。 ・keynoteのデジタル機能を初めて知りました。自分自身が良くていけない機能が多々あったので、触りながら学べるこうした機会がありました。	羽島市教育委員会 教育支援センター 岩田 陽助 教育産業(株)担当者	7月26日(水) 14:00～16:00	正木小学校	筆記用具 iPad 上靴	
12	特別支援 I	多様な教育的ニーズのある児童生徒の理解と指導・支援	小中学校の通常の学級に在籍する児童生徒の多様な教育的ニーズを理解し、それに応じた指導・支援についてお話しします。今回は、多様な教育的ニーズの一例として先生の指示通りに動かない児童を取り上げ、この児童をどのように理解し、指導・支援につなげるのかを皆様と一緒に考えてみようと思います。	岐阜聖徳学園大学 永井 祐也 様	7月27日(木) 9:30～11:00	市民会館 第1会議室	筆記用具	通常学級担任向け
13	人権教育	生きてこそ光り輝く	「LGBTQ+」「インターネットによる人権侵害」。様々な人権問題が、メディアやネットを賑わせています。学校生活でも「いじめ」や「児童虐待」など、考えなければいけないことがたくさんあります。それらの根底にあるのは「一人ひとりの人間が人として大切にされること」です。「そのためには、どんなことに気を付けていかなければいけないのか」「子どもたちの自尊感情を高める指導とは」、演習を交えて考えます。	羽島市教育委員会 学校教育課 豊島 博	7月27日(木) 10:30～12:00	市役所 301会議室	筆記用具	
15	特別支援 II	共生社会の実現をめざして	・インクルーシブ教育システムの構築に向けた取組 ・特別支援学級におけるキャリア教育 ※先生方が普段悩んでいることなど、事前に質問をいただき、そのことについてお答えします。 ＜昨年度の感想から＞ ・まず「できること」より「やりたいこと」という言葉が印象的でした。子どもの「やりたい」という思いを大切にしたいと感じました。 ・子どもたちの行動や言葉の裏にある思いを大切にしなければいけないと思いました。	岐阜聖徳学園大学 松本 和久 様	7月28日(金) 9:30～11:00	市民会館 第2会議室	筆記用具	特別支援学級担任推奨
16	情報教育	デジタル・シティズンシップ	「情報モラル」から「デジタル・シティズンシップ」へ GIGAスクールによって、1人1台の端末が実現しましたが、課題も山積みです。新しい考え方でデジタル・シティズンシップを紹介します。 ＜昨年度の感想から＞ ・一方的なルール押し付けではなく「どうしてそうすべきなのか」「どうするとよいのか」をともに考えなければならぬと感じました。 ・ルールというものが「してはいけない」と禁止したところを、「～しよう」というプラス面でもらえていくことが大切であると感じました。	岐阜聖徳学園大学 芳賀 高洋 様	7月28日(金) 10:30～12:00	市役所 302会議室	筆記用具	情報教育担当者受講推奨
17	生徒指導	保護者への対応	学校運営を円滑に進めるための保護者対応の在り方 ・保護者の学校への意見の受け止め方 ・いじめ等への対応について～法的に踏まえておくべきこと～ ※事前に質問があったら、それに答える形で進めます。 ＜昨年度の感想から＞ ・教師の現場でも、やはり法律的に解決していくことで、教師を守り、働き方を変えることができると感じました。 ・教師の見方からは見えていないところをたくさん見ることができた貴重な機会でした。	弁護士 鈴木 雅雄 様	7月28日(金) 10:30～12:00	市民会館 第1会議室	筆記用具	
18	図工・美術	観ること・造ること - 自身の表現活動を通して -	工芸的なモノづくりを通して、制作過程の重要性を確認し、作品を使う喜びを味わうことで、制作をより身近に感じられることを期待します。さらに、自身の表現活動を通して、鑑賞を深めることを目的としています。 実際に、一版多色刷りの木版画を作成しながら、版画の基本的な指導法とともに、構図の取り方や図工(美術)作品の評価の在り方について学びます。	岐阜聖徳学園大学 早矢仕 晶子 様	7月28日(金) 14:00～16:00	羽島中学校 美術室	筆記用具 新聞紙 彫刻刀 水彩絵の具 上靴	